

仕様書

1. 目的

X線コンピュータ断層撮影装置3組及びデジタルX線透視撮影装置2組（以下、「物品」という）が常に正常な状態で作動するよう維持すること及びそのために必要な保守業務を円滑に実施することを目的とする。

2. 契約期間

令和5年4月1日から令和9年3月31日までとする。

各物品の保守期間については別紙（機器一覧）の通りとする。

但し、本件物品を更新する場合は、本保守契約の終了について発注者及び受注者で協議を行う。

保守期間終了後、保守延長をする場合は、発注者及び受注者で協議を行う。

3. 保守対象装置

別紙（機器一覧）の通り

設置場所：大阪府大阪市中心区大手前3丁目1番69号

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪国際がんセンターが指定する場所

4. 保守業務

物品の機能を持するため、各仕様書①～⑥のとおり保守を行うものとする。

5. 報告書の提出と検査

受注者は、4の保守業務の完了後、速やかに報告書を発注者に提出するものとする。

また、契約期間中に保守費用の効果検証及び契約終了後の保守の必要性等を含む分析評価を行うものとする。

6. 確認書の提出

受注者は、契約締結にあたり部品供給を行う装置メーカーとの間で、当仕様書の内容を記載した確認書を交わし発注者に提出するものとする。

7. 損害賠償

(1) 4の保守業務の実施にあたり、受注者の故意または過失により発注者の建物、設備等を滅失または毀損した場合、受注者はこれを原状に復し、又は、原状回復に代えて損害を賠償しなければならない。

(2) 4の保守業務の実施にあたり、受注者の故意または過失により保守対象外の発注者の装置、データ、プログラム等を損傷または滅失した場合、受注者はこれを原状に復し、又は、原状回復に代えて損害を賠償しなければならない。

(3) 受注者の責に帰すべき事由により、4の保守業務の一部または全部を行うことが出来ず、発注者に損害が生じた場合には、発注者は損害金の支払いを受注者に請求することができる。

8. 個人情報の保護

受注者及び本件業務に従事している者または従事していた者は、業務上知り得た個人情報を第三者に漏らし、又は、他の目的に利用してはならない。

9. セキュリティ

メンテナンス時にファームウェアのアップデートが可能な場合は行い、医療情報部へ詳細情報を報告すること。